



## 一年間ありがとうございました！

早いもので、例年とは違う状況になってもう1年ほどが過ぎようとしています。この間、音楽科としましては、様々な面で個々の学校の状況に応じた対応が求められてまいりました。しかし、上伊那音楽教育研究会では、会員の先生方がその都度たくさんのお知恵を提供していただき、おかげさまでこの状況を何とか乗り越えることができました。先生方の温かなご協力に改めて感謝申し上げます。来年もしばらくはこの状況が続きそうですが、どうか先生方、お体には留意され、ご活躍ください。



## 研修部の先生方、ありがとうございます！！今年度最終アンケートの結果

お忙しい中、来年につながるアンケートを企画してくださった塩澤先生はじめ研修部の先生方、本当にありがとうございます。音楽会につきましては、来年度も今年度同様の状況が予想されますので、各校の様子をうかがえることは大変ありがたいです。また、通知票の文言につきましては、早急に考えるべき課題ですので、すぐに参考にさせていただきたいと思っております！

### 1 今年度ならではの音楽会の工夫

(音楽会をこんな風に工夫した・こんな演出ができた・この曲が良かったなど)

- ・11月初めに、5・6年のみの発表。金管バンドも発表をした。この日を参観日にし、分散で参観とした。3年生は、「ほんとはすごいぞ井月さん」をずっと練習してきたので、当日1時間目に発表。午後、5・6年の発表。パブリックさんにどちらも録画してもらった。午後は、ZOOMで鑑賞。1・2・4年は、別日に録画したが、来年は全学年分散でやる予定。(美篤小)
- ・時期を6月末から10月末に移し、器楽を中心としたプログラムで3部入れ替えで行いました。
- ・全校演奏(全校合唱)ができない中でしたので、「クラッピング ファンタジー第4番 ギャラクシー～銀河をこえて～」(5年教科書)をしました。子どもたちは手拍子で、先生方にお好きな楽器で旋律部分を演奏していただきました。ベースやサクソから、タンバリンまで思い思いに登場し、楽器の組み合わせによって雰囲気が違う3つの伴奏によるリズムアンサンブルが楽しめました。(伊那北小)
- ・6月の音楽会は中止→来年度は2部にして、6月に実施予定。10月23日(金)に、今年度初めての学級懇談会と兼ねて1～3年生までの音楽発表会を学年ごとに実施。2年→3年→1年の順に午前中。2年生は、ボディパーカッションとドレミパイプを使った曲。3年生は、リコーダーを中心とした合奏曲。1年生は、歌と鍵ハモ。(トーンチャイムや手作り楽器を入れて)。各学年の保護者(各家庭1名)のみ参観で、自分の子どもを近くで見ることができた。(赤穂小)
- ・9月の予定を12月に延期。発表の楽曲数を減らし、保護者の鑑賞参加制限を設けた。発表時には、フェイスシールドマスクの着用の徹底、換気の徹底。(東中)
- ・例年、学校の体育館で合唱コンクールを行っていましたが、密を回避し、保護者を入れないなら…となり、駒ヶ根文化ホールで行いました。学年ごと(かつ、生徒は歌うときのみ)行ったので聴き合えませんでした。マスクを外して思い切り歌うことができました。生徒・職員とも、好評だったので、来年度もホールで実施できるように準備をしています。(赤穂中)
- ・コンクール形式ではなく、文化祭と日をずらして開催。「みんなと歌えなかった」「事前の交歓会よりもどのクラスも良くなっていた」等の感想が出されました。感想発表を取り入れたらどうかという意見が出されたので取り入れてみた。(西箕輪中)

- ・体育館で全校で実施。保護者鑑賞なし。各クラスの努力点をアナウンスし、混声合唱を発表できた。全校合唱ができなかったことと、学年合唱は3学年のみだったことが残念。急に音楽会ができなくなることを考え各クラスのビデオ撮りも平行して行った。また、例年はコンテスト形式だったがそれを取りやめ、それぞれの練習が十分でなくとも気持ちを大切にしたい。卒業生が10年ほど前に作った文化祭の歌「フォーエバertime」は、業者の協力で全クラスの歌っている姿を編集し、全校に放送し、教室単位で歌えるように工夫した。伝統を大切に、全員で組み立てていく感動があったと思う。(辰野中)
- ・校内に控え室を2つ作り、ZOOMで体育館から中継。体育館には発表学年の保護者に入場していただいた。校内廊下を一方通行にして、体育館入り口に消毒剤を設置。各学年1ステージにして、全体で7ステージ(金管クラブ含む)行い、途中20分の休憩を挟んで全体で1時間半。来年は連学年合奏も検討。(両小野小)
- ・コロナ禍だったので、活動するのもビクビクしながら、粛々と授業を進めてきた。その中で扱った曲をメドレー風にしながら2年生や3年生のステージ発表を考えた。例→2年生は、ピアノで、ナレーション→チューリップ→ナレーション→かっこう→つなぎの曲→きらきら星+千本桜(マーチング風)、3年生は、ナレーション→笛星人→ナレーション→サザエさん→ナレーション→紅蓮華→スウィング(ダンス付き)など。でもやっぱり歌の活動がないと、音楽という感じがしません…(南部小)
- ・全校児童、職員のみで音楽会を予定通り実施。保護者の参観は、前日の最終リハーサルを学年ごと。6時間。学年1ステージに縮小。1年うたと鍵盤ハーモニカ 2年うたと合奏 3年リコーダー 4年学年合奏 5年学年合唱(どうしても合奏もやりたい!というので、参観日や収穫祭で披露。) 6年のみ2ステージ(歌と合奏)。全校合唱なし。マスクは発表の時のみ外す。保護者は入れなかったが、子どもたちはとても満足していた。学年1ステージが好評で、来年度からもその方向。(辰野西小)
- ・地域の方々の発表、PTA発表、職員発表なし。全校の歌は、最後校歌のみ(当日初めて全校合わせ)。1～6年まで、1.5～2m離れて座り、保護者は、前半と後半に入れ替え、発表する子に対し、一家庭一親鑑賞で行った(児童が聴き合うことを大切にしたい)。個人の録画なしとしたことで、落ち着いた雰囲気良かった。そのかわり業者に録画してDVDを作成してもらった。合唱合奏両方発表したけど、大曲を避け、練習時間も短縮でもけっこうな発表ができた。(西春近南小)
- ・今年度は、未実施。(宮田小)



## 2 R2通知票の文言について (小学校は5・6年、中学校は現在のもの)

知・技→曲想と音楽の構造の関わりを理解し、歌唱・器楽・音楽づくりをすることができる。  
 思・判・表→音楽活動の中で、自分の考えや思いを表現したり、音楽を味わって聴いたりすることができる。  
 主体的→音楽に親しみ、進んで表現したり、鑑賞したりしようとしている。(美篤小)

主体的→音楽に親しみ、主体的に音楽活動に関わろうとしている。  
 知・技→曲想と音楽の構造などの関わりについて理解し、表したい音楽表現をするために必要な歌唱・器楽・音楽づくりの技能を身につけている。  
 思・判・表→表現を工夫し、表現に対する思いや意図をもつことができる。  
 思・判・表(鑑賞)→曲や演奏のよさなどを見いだしながら、音楽を味わって聴くことができる。(伊那北小)

主体的→音楽に親しみ、進んで表現したり、鑑賞したりしようとしている。

思・判・表→音楽のよさを感じ取って、思いや意図をもって表現したり、つくったりすることができる。

知・技→響きのある声で歌ったり、音色を生かして楽器を演奏したりすることができる。

思・判・表(鑑賞)→楽曲の特徴を理解して、曲想を味わって聴くことができる。(赤穂小)

今年から本校は、金 ROM に全学年統一され、音楽科は1～3学期以下のように要録と同じ内容の文面3つのみとなりました。

知・技→曲想と音楽の構造の関わりに気付き、歌唱・器楽・音楽づくりの技能を身に付けている。

思・判・表→音楽のよさや美しさを感じ取りながら、曲や演奏の楽しさを見だし、味わって聞いたりしている。

主体的→音楽活動を楽しみながら、主体的・協同的に表現したり鑑賞したりしようとしている。

(西春近南小)

主体的→音楽に関心をもち、自ら進んで歌ったり、楽器を演奏したり、イメージを膨らませながら音楽を聴いたり、簡単なメロディーを作ったりしている。

思・判・表→曲のイメージを表すために、音色やリズム、旋律や強弱などを工夫しながら演奏したり、イメージに合わせた音楽を工夫して作ったりしている。

・曲の良さや演奏の良さを、イメージや音色、リズム、旋律や強弱などを大切にしながら味わって聴いている。

知・技→曲のイメージを形にするために、言葉の発音や声の響かせ方、楽器の基本的な奏法や音色を大切にしながら演奏している。(両小野小)

1学期ごとに文は変わります。

主体的→音楽の美しさや楽しさを感じ取りながら進んで学習しようとしている。

音楽活動に興味・関心を持ち、進んで取り組もうとしている。

知・技・思判表→歌詞の発音や内容にあった歌い方に気をつけて合唱ができる。

発声に気をつけて曲想表現や歌詞の内容に合わせて合唱することができる。

低音や和音のパートの響きを感じながら互いの音を聴き合って合奏ができる。

和音に含まれる音を使って旋律をつくることができる。

自分のパートの役割を意識して、音の重なりあいを感じて合奏することができる。

思・判・表現(鑑賞)→楽曲の特徴や変化を感じ取って、鑑賞することができる。

様々な楽器の響き、旋律や歌詞と曲想との関わりに気をつけて曲の良さを味わって聴くことができる。(宮田小)

音楽への関心・意欲・態度→意欲や関心を持って、仲間と協力しながら音楽に取り組むことができる。

音楽的な感受や表現の工夫→楽曲への表現の願いを持ち、自分の声や楽器で表そうと工夫することができる。

表現の技能→歌唱や器楽の基礎的な表現の技能が身に付いている。

鑑賞の能力→楽曲に関心を持って聴き、音楽の様式や特徴を理解することができる。(東中)

関心・意欲・態度→音楽に親しみ、進んで表現しようとしている。自分の力を皆のために役立て、協力できる。

感受・表現→曲想や美しさを感じ取り、表現に活かし伝わるように演奏できる。

表現の技能→正しい音程やリズム、リコーダーの運指、美しく響く発声等の技能を身に付けている。

鑑賞→音楽のよさや美しさを味わい、楽器・楽曲構造を理解して聴き、言葉などで表現できる。

(辰野中)

知・技→音楽の基礎的・基本的知識・技能・文化の理解

思・判・表→表現の創意工夫を考える力

主体的に表現活動や、鑑賞に取り組もうとする態度

(西箕輪中→検討中)